

1. 延べ床面積約1万6000平方メートルを誇る、地上3階建ての本社工場
2. 工場に設置された3台の蒸気ボイラー
- 3・4. こだわりのデイリー商品
5. おにぎり製造ライン
6. 調理パン製造ライン
7. 一度に80キログラムの焼きそばを調理する「ロータリーシェフ」



武蔵野グループの理念をバックに記念撮影

天然ガスを使って美味しいデイリー商品を提供

株式会社武蔵野沖縄（浦添市）

県内のセブナイレブんに並ぶデ
イリー商品の製造を一手に担う
株式会社武蔵野沖縄。離島県であ
る沖縄に全国水準の商品を提供
するため、同社はどのような取り
組みを行っているのか。本社工場
を訪ねて、独自の取り組みと質
の高い商品作りに欠かせない天然
ガスの役割について話を聞いた。

高品質で大量の調理に天然ガスを採用

昨年7月11日の14店舗同時出店以来、
順調に店舗数を増やしているセブナイ
レブン・沖縄。食の安全・安心と、お
いしさにこだわったオリジナル商品が
人気である。その多くのこだわりを商
品としてカタチにしているのが株式会
社武蔵野沖縄（山根理社長）だ。

衛生管理が徹底された工場では、米飯
類、調理パン、麺類、惣菜、サラダなど

デイリー商品の調理から盛り付け加工ま
でが一貫して行われている。大量の炒め
物が調理可能な大釜では約80キログラ
ムの焼きそばを高火力で一気に調理してお
り、その隣では煮込み用の鍋やロースター、
フライヤーで様々な総菜が作られる。一
度に約18キログラムの米を炊飯可能な大



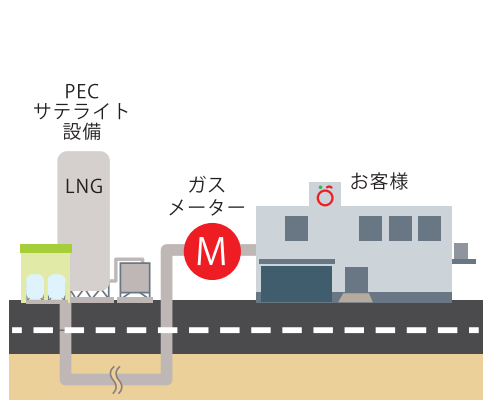
山口貴嗣工場長

どのブランド米を使い分ける。とはいえ、
ガスの熱量が安定しないことには炊き
上がりにムラが出てしまう。山根社長
は「導管を通して直接天然ガスを供給
できるということで、沖縄電力さんに
お願いすることにしました」と振り返る。
武蔵野沖縄が使用している天然ガスは、
沖電グループの㈱プログレッシブエナ
ジー（以下PEC）が沖縄電力本店構内
に設置した「牧港天然ガス供給センタ
ー（サテライト施設）」から、約700m
のガス導管を通して供給されている。
工場が立地するエリアは都市ガス供給

網が整備されていないが、沖縄電力と
PECが協力して設備構築を行ったこ
とで、都市ガスと同等の利用環境を
実現した。山口貴嗣工場長は「沖縄電力
さんに天然ガスの熱量と圧力が一定に
なるように調整いただいたので、お米が
持つ本来の美味しさを提供することが
できました」と感謝する。

万全の体制で県民の期待に応える

セブナイレブン・沖縄は進出から5
年後となる2024年までに、250
店舗の出店を目指している。順調に推
移すれば、人口10万人当たりのコンビ
ニ店舗数は56・3店と全国2位に浮上
する。山口工場長は「現在は60の炊飯
機で対応していますが、250店舗と
なることも追いつきません。さらに大
きな炊飯機の導入も視野に入れながら、
製造能力のアップを進めていきたい」と
将来を見据える。エンジニアリング部の
鉄本優司主任は「店舗数の増加に伴い
エネルギー使用量が増えてくる。より
効率的なエネルギー利用と工場の安定
稼働のために、自家発電設備や空調
への天然ガス利用の可能性について



PEC供給センター方式



鉄本優司エンジニアリング部主任

検討していきたい」と、将来のエネルギ
ー転換にも期待を込める。「天然ガスは
他のエネルギーと比較してCO2の排
出量も少ないですから、工場の製造能
力が上がっても環境に優しいのも特長
だと思っています」
今後の展望について山根社長は「い
くら製造量が増えても品質が伴わなけ
れば意味がありません。最終的に品質
で圧倒していくために、沖縄電力さん
には引き続き電気と天然ガスの安定供
給をお願いしたい。県民の皆さまの大
きな期待に応えられるよう、万全の態
勢で取り組んでいきます」と力強く抱
負を述べた。

お客さまのニーズに合った 最適なエネルギーをご提案します。

沖縄電力グループでは、電気と天然ガスの最適な組み合わせをご提案し、エネル
ギーを通じた事業運営の最適化や安定化によりお客さまを支援してまいります。
エネルギー診断から、ファイナンスサポート、システム設計・施工まで、エネルギー
の利用に関するあらゆるニーズにワンストップで対応しますので、省エネ・省CO2へ
の取り組み、エネルギーコストの低減等でお困りの際は、下記問い合わせ先までご一
報ください。

沖縄電力(株) 法人営業部 法人提案グループ

〒901-2602 浦添市牧港5丁目2番1号
☎0120-586-391 内線3485～3490

いーわじゃ 検索



私たちに任せください!

型炊飯機が60機並ぶ炊飯室では、おにぎ
りや弁当などデイリー商品の製造に特
に欠かせない大量のご飯が、ふつから美味
しく炊き上がる。こうした商品を高品質
かつ大量に製造するには、安定して高い
熱量を維持できるエネルギーが必要とな
る。そこで同社はエネルギー源に天然ガ
スの採用を決めた。
導管供給で都市ガスと
同等の利用環境を実現
こだわりの美味しいご飯を沖縄の人
たちにも味わってもらおうと、同社で
は最新の炊飯設備を導入した。使用す
る米もメニューに合わせてコシヒカリな